

物理学系セミナーのお知らせ

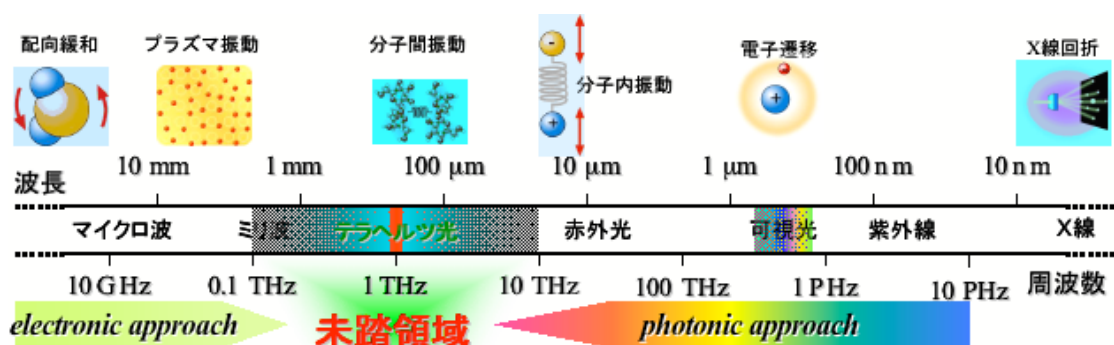
日時：2008年7月7日（月） 16：40～17：50

場所：A207教室

講演題目：「テラヘルツ光で見る世界」

講演者： 林 伸一郎 氏（理化学研究所協力研究員）

テラヘルツ光とは、電波と光の間に位置する電磁波の呼称であり、波長 $300\ \mu\text{m}$ 、周波数に換算すると1兆 Hz（10の12乗＝T（テラ））付近であることからこう呼ばれる。この領域は従来、電磁波の未開拓領域として取り残されてきたが、近年、科学技術の進展に伴ってその発生・検出が容易になり、この周波数領域の電磁波に対する関心が高まっている。このテラヘルツ帯は、電波のように多くの非金属物質を透過するだけでなく、光のように物質固有の吸収スペクトルを持つなど、電波と光の両方の性質を併せ持っており、これらの性質を利用した研究が、基礎科学はもとより、工業、農業、医療など各方面で盛んに行われている。当日は、テラヘルツ光とはどんな電磁波か？から最近の基礎・応用研究、産業応用まで、テラヘルツ光を通して見える世界を紹介する。



連絡先：菊地 淳（内線 7425）